

# R4コンバーター (Ver.1.00) のリリース

InterKX シリーズ、応援シリーズのデータを R4 シリーズのデータに移行する「R4 コンバーター (Ver.1.00)」をリリースします。次の内容についてまとめましたので、ご確認ください。

1. 発行プログラム
2. コンバートプログラムの内容
3. セットアップについて
4. R4 コンバーター利用時の注意事項
5. フォルダー構成

## 1. 発行プログラム

システム名	システムの内容	バージョン
R4 コンバーター (個別)	R4 アプリケーションの会社選択画面から起動するコンバータープログラム (ユーザー向け)	Ver.1.00
R4 一括コンバーター	プログラムフォルダーから起動するコンバータープログラム (代理店様向け)	

## 2. コンバートプログラムの内容

マニュアルはACデラーズネットに掲載されています。詳細は、そちらをご覧ください。

### 2-1.R4コンバーター (個別)

R4 アプリケーションの会社選択画面から起動するコンバートプログラムです。



### 2-2.R4一括コンバーター

販売代理店様向けのコンバータープログラムです。R4 コンバーターをセットアップしてから、次のプログラムを直接実行してください。

C:\Program Files\Epson\R4\CYConvert\Epson.Accounting.CYConverter.exe

## 2-3.R4コンバーター（個別）とR4一括コンバーターの違い

個別コンバーターと一括コンバーターの違いは次のとおりです。

処理	一括コンバーター	個別コンバーター
コンバーターの起動方法	プログラムフォルダーから起動	R4 アプリの会社選択画面から起動
ログインユーザー	ログインなし	R4 アプリにログインしてから起動
移行先	移行先を選択可能	起動している R4 アプリの接続先
移行元	既存アプリの接続先／移行元フォルダーを選択可能	既存アプリの接続先／移行元フォルダーを選択可能
ユーザー情報	アプリケーションのデータが作成されていなければ、何度でも移行可能	1 度だけ移行可能
共通マスター	移行可能	自動で移行
共通会社情報	アプリケーションのデータが作成されていなければ共通会社だけを移行可能	コンバート時に、1 社ずつ随時作成
コンバート単位	複数アプリを選択して移行可能 すべてのデータから選択して移行	ログインしているユーザーが使用できる既存データから選択して移行
対象システム	財務応援 Ai は不可	コンバート可能アプリすべて可能

## 3. セットアップについて

### 3-1. セットアップの順番について

コンバートを実行する PC には、旧アプリケーションプログラムがセットアップされている必要があります。セットアップは、次の順番で行ってください。

①旧アプリケーション→②R4 アプリケーション→③R4 コンバーター

なお、上記セットアップ後、R4 アプリケーションを追加したい場合は、コンバーターのバージョンがあがっていなければ、R4 コンバーターを再度セットアップする必要はありません。

### 3-2. コンバーターのバージョンアップについて

R4 コンバーターは、R4 アプリケーションがバージョンアップされるタイミングで更新されます。アプリケーションのバージョンアップ時には、コンバーターも一緒にセットアップしてください。

## 4. R4 コンバーター利用時の注意事項

### 4-1. R4コンバーターと既存アプリケーションの同時使用について

現在のところ、報酬請求、相続税、所得税以外は、1 台の PC で R4 コンバーターと既存アプリケーションの同時使用が可能です。所得税につきましては、現在対応を調査中です。別途ご案内いたします。

## 4-2. ユーザーデータの移行について

InterKX および応援ネットワーク版の場合は、従来使用していたユーザーをコンバートすることができます。R4 アプリケーションとR4 コンバーターをセットアップ後、E i ボードを起動すると次のユーザー移行画面が表示されますので、移行をしてください。

この画面は、ユーザーがまたは R4 アプリケーションデータが1つでも作成されると表示されません。

No.	移行対象	ユーザー名	ユーザー氏名	ユーザー情報	既存環境種類	アクセス権限
1	<input checked="" type="checkbox"/>	epson	epson		InterKX	セキュリティ管理者
2	<input checked="" type="checkbox"/>	epson2	epson2		InterKX	セキュリティ管理者
3	<input checked="" type="checkbox"/>	epson3	epson3		InterKX	セキュリティ管理者
4	<input checked="" type="checkbox"/>	epson4	epson4		InterKX	セキュリティ管理者
5	<input checked="" type="checkbox"/>	epson5	epson5		InterKX	一般利用者

※個別コンバーターの場合は、R4 アプリケーションにログインしてからコンバートを開始しますが、コンバートできるデータは、そのユーザーが既存アプリケーションで使用できるデータです。

※一括コンバーターの場合は、ユーザーが登録されていても、R4 アプリケーションのデータが未登録の場合は、何度でもユーザーの移行が可能です。

※データ利用者が設定されているデータをコンバートした場合、そのデータをコンバートすると、データ利用者はコンバートされません。

## 4-3. コンバート所要時間の目安 (参考)

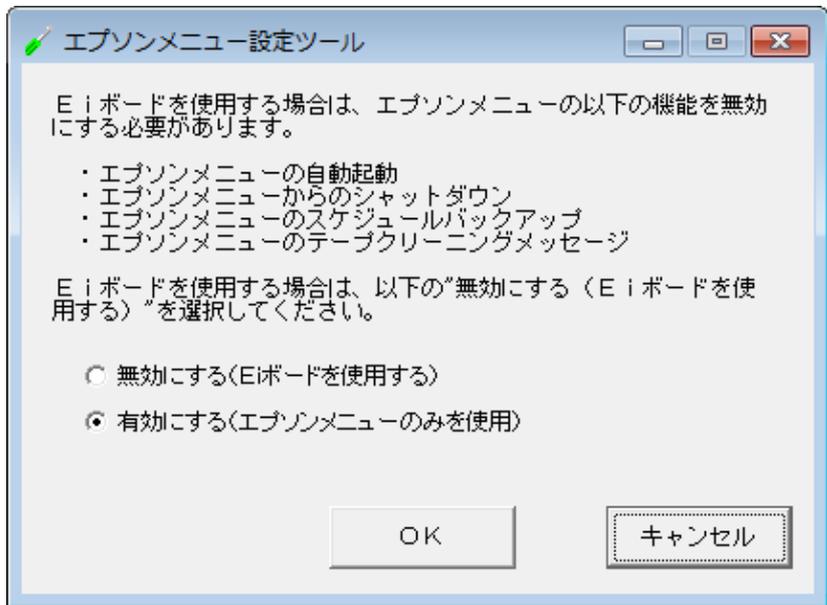
InterKX、財務応援 Super/Lite のデータコンバーター計測結果は次の通りです。  
アプリケーションごとの計測結果は、今後 AC ディーラーズネットに掲載していきます。

データパターン	①	②	③	④	⑤	⑥
補助科目	なし	なし	なし	100	200	500
明細部門	なし	なし	なし	なし	なし	なし
仕訳件数	1,000	5,000	10,000	1,000	5,000	10,000
<サーバー計測>						
平均コンバート時間(S)	0:01:10	0:01:22	0:01:40	0:01:14	0:01:30	0:01:52
<クライアント計測>						
平均コンバート時間(C)	0:01:25	0:01:39	0:02:00	0:01:28	0:01:47	0:02:11
<参考>						
元データサイズ(KB)	3,868	7,571	12,237	4,487	8,649	14,019
R4 での db サイズ(KB)	6,856	8,124	9,780	7,068	8,248	10,232

データパターン	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
補助科目	100	200	500	6	33	37
明細部門	10	50	100	なし	なし	100
仕訳件数	1,000	5,000	10,000	2,930	3,619	61,334
<サーバー計測>						
平均コンバート時間(S)	0:01:20	0:01:40	0:02:05	0:01:05	0:01:06	0:05:17
<クライアント計測>						
平均コンバート時間(C)	0:01:35	0:02:58	0:02:29	0:01:14	0:01:19	0:06:28
<参考>						
元データサイズ(KB)	5,722	13,292	25,122	5,102	5,650	48,260
R4 での db サイズ(KB)	7,220	8,684	10,596	3,968	7,308	27,580

#### 4-4. エプソンメニューのバージョンアップについて

R4 シリーズにデータ移行後は、E i ボードのバックアップをご利用ください。旧アプリケーションのバックアップも一緒にバックアップが可能です。つきましては、エプソンメニューを Ver.5.40 以降にバージョンアップして、「エプソンメニュー設定ツール」でスケジュールバックアップ等の処理を中止する設定を行ってください。



※エプソンメニュー設定ツールは、スタートメニュー→【すべてのプログラム】→【エプソンアプリケーション】から起動してください。

#### 4-5. InterKX財務会計2014／企業支援／財務応援Super/Liteのバージョンアップについて

既存の財務システムについては、会社選択画面でコンバート済みが分かるように表示するプログラムをリリースします。

InterKX 財務会計 2014	Ver.5.20
InterKX 企業支援	Ver.5.20
財務応援 Super (SA)	Ver.9.20
財務応援 Super (N/W)	Ver.9.20
財務応援 Lite	Ver.9.20

## 5. フォルダー構成

### ■プログラム

- ¥
  - └ Program Files (64bitOS は Program Files(x86))
    - └ Epson
      - └ R4
        - └ CYConvert..... R4 コンバータプログラム

以上、よろしくお願いたします。